



真剣に学ぶ子 心の美しい子 健康でたくましい子

Let's fly tomorrow



衣丘小だより 11号 令和8年6月23日

★第1回学校運営協議会を開催しました(6/18)★

学校運営協議会は、地域や保護者の代表の方々と学校が連携し、学校運営について話し合いながら、子どもたちのよりよい育ちを支える組織です。学校の教育方針について意見をいただいたり、地域の力を生かした教育活動の充実を図ったりするなど、「地域とともにある学校づくり」を推進しています。意見交換では、委員の皆さんから地域との連携の在り方や子どもたちの学びや成長をより支えていくための方策について、ご意見やご助言をいただきました。



【第1回学校運営協議会の様子】

- ・子どもたちはずっとこの地で育っていくので、子どもたちが地域に愛着を持てるような取組（学習）をしてほしい。（自分たちのふるさととして子どもたちに何を残すのか）
- ・自分の地域を知るという意味で、三軒屋自治区には三軒屋区誌があり、活用できるのではないか。
- ・地域学校共働本部が推奨している「ながら見守り」は、呼びかけだけではなくその後の検証が必要なのではないか。
- ・「ながら見守り」で協力してくれる人が増えたのはありがたい。
「ながら見守り」の自覚がもてるようにシールを渡すなど、気持ちを形に表すことが必要ではないか。
- ・高齢者の登下校の見守り（スクールガード）の人数は年々減ってきている。保護者全体（父親も母親も）を巻き込み輪を広げていくことが必要である。
- ・今年は学校のシンボルでもあるみかんの栽培が順調であることを聞き安心している。
- ・家族の立場としても子どもたちが毎日学校に楽しく通っている姿を見るのは大変嬉しい。



学校運営協議会の後、地域のよさについて知りたいと思い、校長室の本棚を見たら右のような書籍があり、子どもたちが住んでいる三軒屋自治区や小坂自治区の歴史を知る貴重な資料と出会いました。三軒屋区誌「拓く」には、「三軒屋10不思議」が紹介されており、その中の一つに「小学校のプールに区界があるのはなぜ？」があります。子どもたちにも興味もてるような内容については今後紹介していきたいと考えています。



【校長室の書架にある書籍】

★家庭教育懇談会ありがとうございました(6/23)★

テーマ：デジタル社会をより良く生き抜くために 保護者が知っておくべきこと



【トラブルから子どもを守るコツ】

土台として

○親子のコミュニケーションをがんばって

○親子の信頼関係をがっちり

①家庭のルール…子どもと一緒に確認しながらルールを作る

②フィルタリング…ネットにつながる全ての機器に必要

③モラル（思いやりの気持ち）…生のコミュニケーションや地域活動、ボランティア活動で豊かな心に